

## 広島県 呉市で海岸・干潟生物調査（全種調査）を行います。

この調査は、呉市の藤岡さんが、50年近く行ってきた「海の生物の定点調査」を引き継いで、実施する調査です。

瀬戸内海の現状を、未来に継承するための、貴重なデータとなります。

♡ 皆さんの参加をお願いします。♡



全種調査を行いますので、特に、干潟生物についての知識は必要ありません。

とにかく、その区域に生息している海岸・干潟の生物をすべて集め、詳しい人が生物名を判別し、どんな、生き物がどのくらい生息しているかを調べます。



### 集合日時・場所など

実施日 2017年6月26日・27日（1日だけの参加も歓迎）  
集合場所 JR広駅（広島県 呉線）  
集合時間 両日共、午後3時

皆さんが集合後、調査地点へ移動します。

☆参加できる方は、下記のアドレスに連絡いただければ、助かります。  
mail : [kanseto-cyousa@setonaikai-japan.net](mailto:kanseto-cyousa@setonaikai-japan.net)

# 2017年 瀬戸内海沿岸の海岸生物調査 今年もやりましょう！

見て、触れて、感じて、食べて、足元の海を体感しよう

環瀬戸内海会議海岸生物調査担当 坂井 章



写真は、故藤岡義孝さんの調査を継承し、毎年実施している広島県呉市の戸浜海岸での調査の様子です。

今年もやります！

みんな来てね(^)/

**今年の調査日程**

6月26日(月)・27日(火)

15:00

JR呉線・広駅集合

長浜・広西大川・戸浜で調査

2002年に始めた海岸生物調査、今年で16年目に入ります。今年も海岸生物調査を実施します。

引き続きご協力をお願いします。

海岸生物調査のもつ意味は何よりも、いつの間にか失われてきた海に親しむ暮らしを取り戻すこと、そして気楽に誰でもできる調査で「足元の海」を体感することだと思っています。

## ☆ 見て、触れて、感じて、食べて

見て、触れて、感じて、できれば食べて、足元の海を共に感じてください。そして、海の生き物たちが、環境の変化に如何に敏感に反応するか見て下さい。とりわけ、海の生物たちに触れ合う機会が少ない子どもたちに、触れ合う場を提供していきたいと思います。

## ☆ 生物は環境の変化に敏感です

私たちの海岸生物調査の中でも、香川県豊島の不法投棄産廃現場北海岸で、2002年に産廃の汚染水が遮断されるや、二枚貝やアマモが復活、翌年にはイカの産卵が見られました。また、愛媛県今治市吉海町では2005年末、塩川跡地に鉄鋼スラグが持ち込まれ、導水路のカキや二枚貝が死に、

住民の反対で撤去されるや、急速に回復しました。

足元の海に生息する生物を、市民の目線で知ることが重要と思っています。

## ☆ あなたが生物調査リーダーに！

これまで調査活動に参加してきた皆さん、ぜひともリーダー役になって下さい。まずは、これまで各地で生物調査にご協力頂いた皆さんに、引き続き調査をお願いします。

## ☆ 潮時表を見て、「大潮の日」に調査を

潮時表(海上保安庁作成の全国潮時湾マップ)を見れば、あなたの住む地域の大潮の日がわかります。生物調査にそれぞれの地域での絶好の日程・時刻を今から設定してください。

これまで各地で協力して頂いている皆さん、今年も宜しくをお願いします。

調査日程や調査結果を下記連絡先までお願いします。

＝ 連絡先 ＝

海岸生物調査担当 坂井 章

〒738-0054 広島県廿日市市阿品 4-21-5

電話 080-1933-1890

E-mail kanseto-cyousa@setonikai-japan.net